



柏のキャンパス駅前広場2020プロジェクト

地域住民や学生による空間デザインの実践

公共

柏市
柏商工会議所
田中地域ふるさと協議会

民間

大学

東京大学
千葉大学

三井不動産

首都圏新都市鉄道





空間計画



環境都市研究



社会実験

次回開催 5月21日 (土) 10:00~15:00 (野菜市も 10:00~15:00)
 5月のマルシェは21日(土)の開催となります。朝市、ランチ、ライブイベントと、盛りだくさんの一日にぜひご参加ください！

マルシェコロール
 marche couleur

5月は共催イベントがいっぱい！
マルシェコロールへ行こう！
 朝市、ランチ、ライブ&ワークショップと、今月も盛りだくさん！
 夜のイベントも開催するって噂も？

UDCK

またねー！

トップ
 マルシェコロールとは？
 スケジュール
 アクセス&開催場所

柏の葉ナビ KASHIWANOHA NAVI
 ~千葉県柏の葉キャンパスシティの情報サイト~

HOME | 柏の葉のまちづくり | まちで学ぶ、遊ぶ、参加する | イベントカレンダー | 周辺地図・施設情報

UDCK
 Urban Design Center

キャンパスシティで学ぶ
 幅広い世代に学びの機会が広がります！

まちのクラブ活動に参加する
 が1まちから70K1に広がるネットワーク！

まちのイベントに参加する
 ボランティアスタッフも募集しています！

実証実験に参加する
 未来へ向かう、まちのチャレンジです！

まちのクラブ活動
 KASHIWANOHA CIVIC COMMUNITY
 柏の葉の
 家でも学校でもない、もうひとつのコミュニティ

トップ | まちのクラブ活動とは？ | クラブ活動一覧 | クラブ(イベント)に参加する | メールマガジンに登録をする

お肉屋さんの料理教室にて、みんなでがんばり！

マチノ先生プロジェクト
 マチビト・オン・ステージ
 アーティストカフェ
 ヘビママ応援プロジェクト





柏のキャンパス駅前広場2020プロジェクト

■プロジェクトのはじまり

2010. 6 東京大学空間研究室とUDCKで『柏の葉研究会』から

■プロジェクトの位置づけ

この地域の特徴であるUDCK、そして多数の構成団体が議論や連携ができるその可能性を生かし、UDCKの一つの目的である柏の葉地域の『空間デザインを学生同士で考えよう』という動きの一つである。

■ 柏の葉駅前広場に対する問題意識

- 東京大学、千葉大学そしてUDCKなど地域資源に恵まれていることに関わらず、**典型的な新都市の駅前広場の様子**
- この状況で続くと他の新都市と同じのように特徴がない都市になってしまう。
- UDCKで様々なイベントをやっているのに空間的に表れてない。



現況

人の流れや機能の断絶



基本構想

地域資源を生かした空間づくり
地域のソフト的な豊かさが表れる空間づくり



PROCESS1: 学生による提案作成

①ロータリーの歩行者空間化

- ・今の駅前ロータリーの形は、約30年後の未来を予測して決めたわけでこれから20年は交通じゃなくて公園や歩行者空間に使っていいのではないかな
- ・本当に想定している30年後に人口はそもそも増えていくのか
- ・(株)オオバの調査によると、24時間の交通量で計画(10,000台/日以上)より現状が(約3,000台/日)低く、混雑度も西口側の一般車やタクシーを東口側に振り替えた場合、0.47で1より低い。

i) 道路の区分

	西口駅前線		東口駅前線	
	平日	休日	平日	休日
24交通量/日	3,083	3,316	3,367	3,216

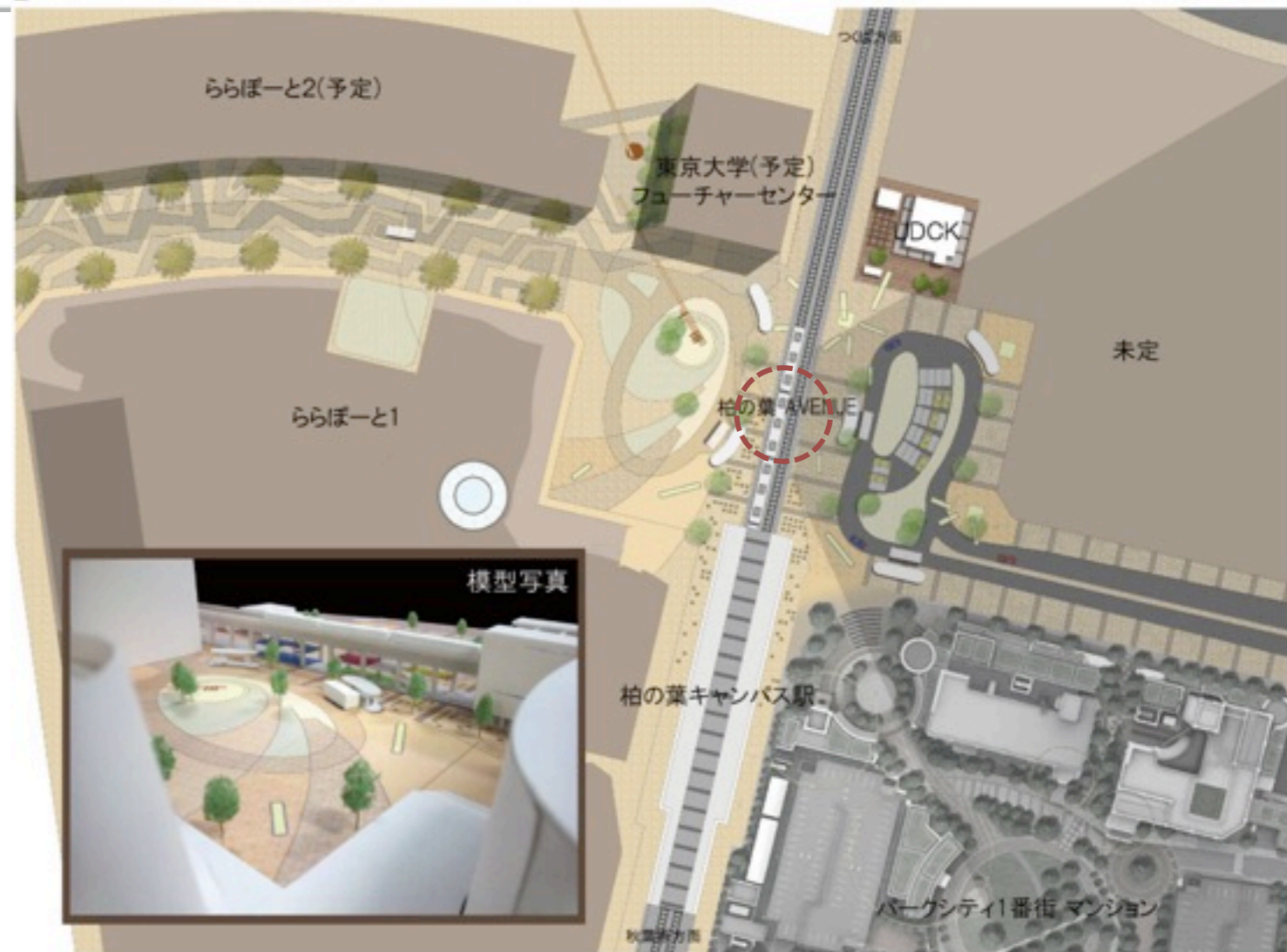


ii) 混雑度

	西口駅前線		東口駅前線	
	平日	休日	平日	休日
現況交通量	0.33	0.33	0.43	0.26
東口駅前線に振り替えた場合	0.11	0.08	0.67	0.47

西口駅前線の一般車・タクシーを東口駅前線に振り替えた場合、混雑度は0.47(休日)
 ※混雑度が1未満の場合、混雑することなく、円滑に走行できる。

■マスタープラン(ART-2案)



■代案比較表

駅前広場の公園化することを目処にし、積極性により三つの分け、その可能性を探った。

	ART-1	ART-2	ART-3
計画案			
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシー、送迎車、バスを東口側に強化 ・西口側は全面歩行者中心で柏の葉公園まで繋がる公園軸づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシー、送迎車、バスを東口側に強化 ・西口にはバスだけ許可 ・西口広場全体舗装化し、歩行者中心空間づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の機能維持 ・ハンブを作り、歩行者に優しい空間づくり
積極性	高	-	低

②鉄道高架下に相応しい機能やイメージ

- 提案 1. 高架下の公共空間化 2. 駅前の人の緩やかな流れ

■ コンセプト



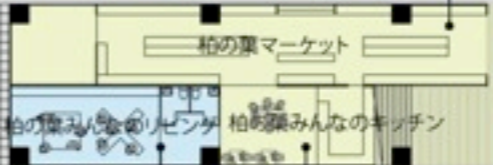
駅の両側をつなぐ場所であるが、移動空間ではなく居る空間であり、分割された階級をつなぐ。図書館やマーケット、キッチンの延長として祝祭的利用が可能であり、デッキに似た機能を持つ。

knowledge zone



周辺で穫れた野菜や果物を販売する。大塚川沿いの「かしわで」の縮小版。「かしわで」までは遠く、日常利用が難しいため、駅前のコンビニ的利用を目的とした青果市場。

agri healthy zone



改札口の既存の状態はやたらと長い直線のアプローチは無駄な動線と言える。改札から外にあるGLから2500mm分の壁を撤去し、シャッター化か幅広のドアを日常開放することによってデッキと一体となった広い駅前空間が生まれる。

駅前の改札口

1st Floor 計画

性により三つの分け、その可能性を探った。

T-2	ART-3
バスを東口側 許可 美化し、歩行者	現在の機能維持 ハンプを作り、歩行者に優しい空間づくり
	低

既存のままでは小さな市立図書館分館まで1キロ以上かかるため、柏の葉に図書館を新設する。住居はもろろんのこと、柏の葉高校の生徒、千葉大や東大の学生が利用し、ららばーと訪問者の託児所としても機能する。



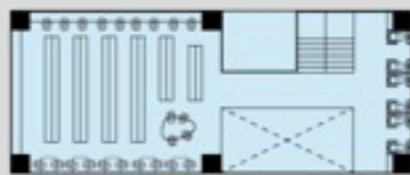
柏の葉みんなのキッチンの拡張スペースでもあり、バスの待合室でもあり、駅前の持ち合わせの場所でもあり、少し休む場所でもある。特に開かれた機能はないが、ゆっくしたり、雑談をしたりと機能不在という機能を持つ空間と言える。

柏の葉マーケットで売られている食材を用いたコミュニティダイニング。フランチアイズ経営ではない住民主体の食の空間。レンタルキッチンとしても利用でき、日替わりシェフとして住民が腕を振るうこともできる。

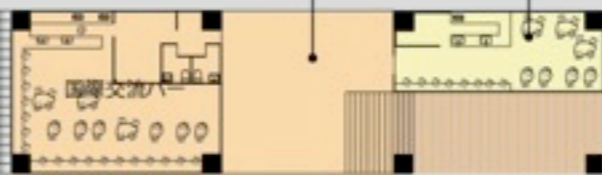


多国籍の住民がいる柏の葉は外国人が慣れ親しんだ場所を消費することを求められる。バーはどこ国に行ってもあり、日本の独特の居酒屋文化とは違った「都市的」な一面を持つ。それは都市に対して解放的で相互影響を与える場所である。

2Fにあるイベントスペースはデッキから大階段を通った一連の公共空間として機能する一方で、夜はインターナショナルバーのアネックスとして公共がバーを支援する特殊な方式をとる。室内化された公共空間はミーティングをしたり、イベントをしたり、ちょうどLOOKが担う機能の駅前縮小PR版と言える。住民の活動が見えることがさらなる住民活動を促す。

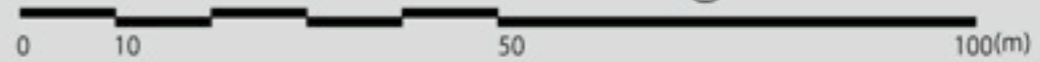


knowledge zone



international zone
activity zone

2nd Floor 計画





現況写真-1



現況写真-2



PROCESS2: 地域住民アンケート調査

① 学生提案をベースにパネルやアンケートシート作り

アンケート項目

- ・ 駅利用の満足度
- ・ 駅のイメージ
- ・ バス待ち、送迎車利用
- ・ 鉄道高架下の利用
- ・ 待ち合わせの場所
- ・ ロータリーの計画
- ・ 地域性のデザイン

アンケートシート

叩き台パネル



② UDCK の各種イベントに合わせたアンケートの場

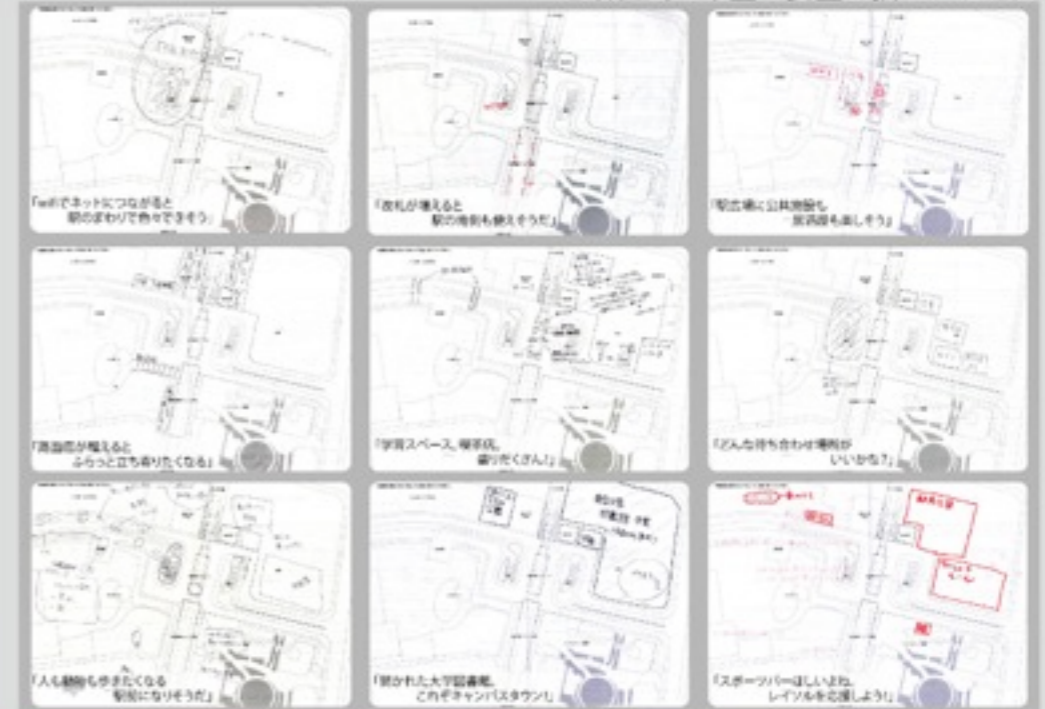
アンケート実施

- ・ 1次：サイエンスカフェ
日時 10.10.30(土) 参加者(22名)
- ・ 2次：マルシェ
日時 10.11.06(土) 参加者(28名)
- ・ 3次：環境フォーラム
日時 10.11.20(土) 参加者(20名)



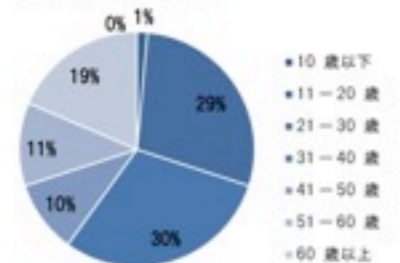
③ アンケート調査結果の展示、情報発信

地域住民の希望や要望が描かれた地図



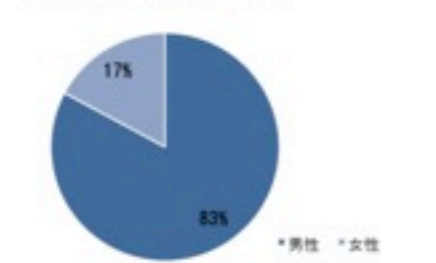
1 年齢

・年齢は70名の中、31-40歳が21名で約30%を占めている。



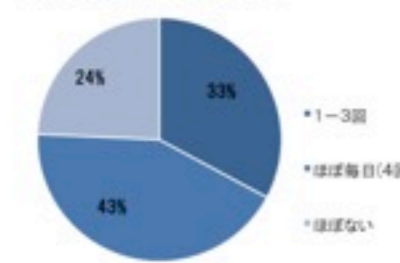
2 性別

・性別は70名の中、男性58名、女性12名で男性が83%を占めている。



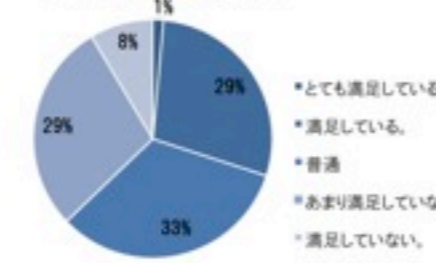
3 柏の葉キャンパス駅の一週間の利用回数

・アンケートに参加した70名の中、約43%がほぼ毎日駅を利用している。



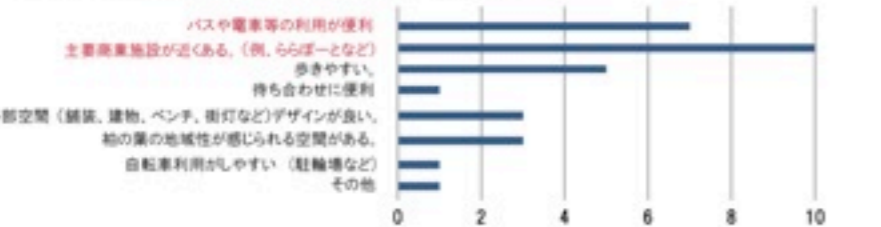
4 駅及び周辺広場についてどう思っていますか？

・『あまり満足していない』、『満足していない』と答えた方は約38%である。



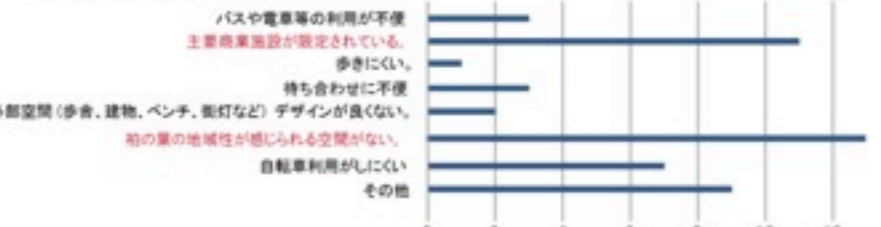
5 駅及び周辺広場について「満足している」と答えた方はどのような面でそう思っていますか？

・駅前に対して満足している方の第1の理由としては、主要商業施設があること、第2は交通の利便性であった。この二つの答えが全体の60%となっている。



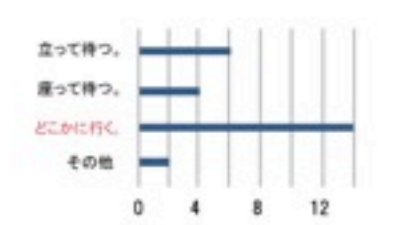
6 駅及び周辺広場について「満足していない」と答えた方はどのような面でそう思っていますか？

・駅前についての満足度は商業施設のイメージと関係性が高いことが分かる。しかし、商業施設に対する人々の好みや基準が異なっている。



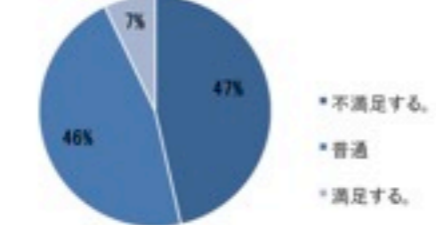
7 バスの待ち時間(10分以上)に何をしていますか？

・バスの待ち時間にはファーストフードなどどこかに行くという答えが多い。



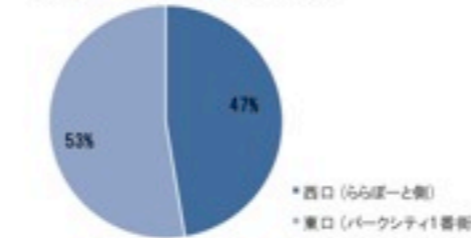
8 バスの待ち方において満足していますか？

・不満の理由では、①バス停にベンチがない②冬に寒い③待ち時間が長いなどがあつた。



9 駅に家族や友たちを送り迎えに来る場合、どちらのロータリーを利用していますか？

・送迎車を利用している方々のロータリーの利用は53:47で東口側が若干多い。



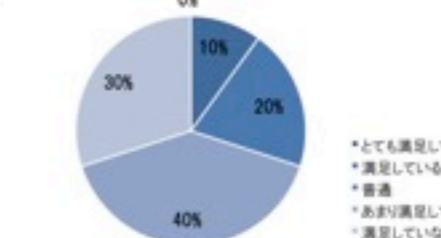
10 送迎する際、現在の駅前空間に満足していますか？

・不満足理由では、①街中場所がない②ちよつと止まれない③屋根がなく人が待つ場所もないなどがあつた。



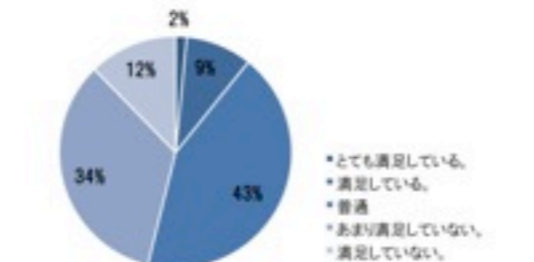
11 現在の駐輪場に満足していますか？

・駐輪場利用に関して不満足は約70%であった。

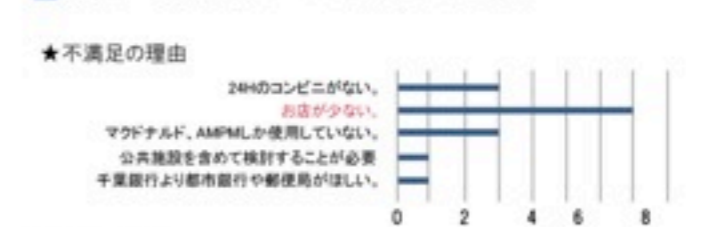


12 高架下の各種店舗について満足していますか？

・特に30以上は「満足している」と答えた方がいないため、年齢によるプログラム計画が必要である。



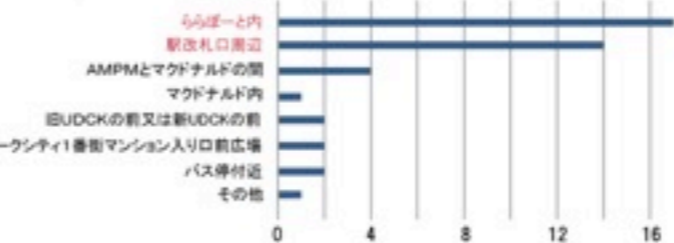
13 高架下の各種店舗について不満足理由は何？



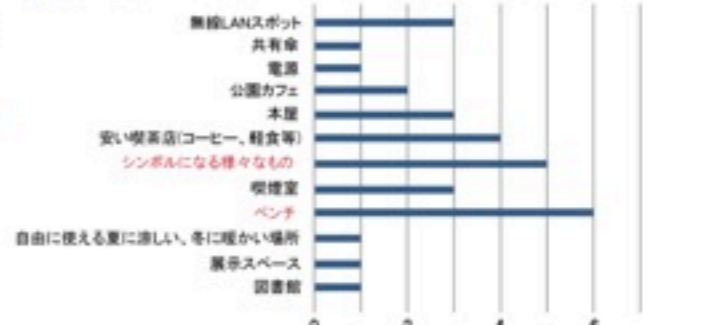
★満足理由
①現在のもの以上何か必要性を感じない 何かあればららぽーとにでも行けば良い。
②コンビニとレストランがあって便利

14 待ち合わせに利用する場所はどこですか？

・ららぽーと内や駅改札口と答えた人が全体の中で約75%であるが、その理由として駅広場の中、特にたまり場所がないこと、そしてそれほど駅前広場の特徴がない(ランドマークがない)からであると考えられる。



15 待ち合わせの場所に「あったらいいな」と思うのはありますか？

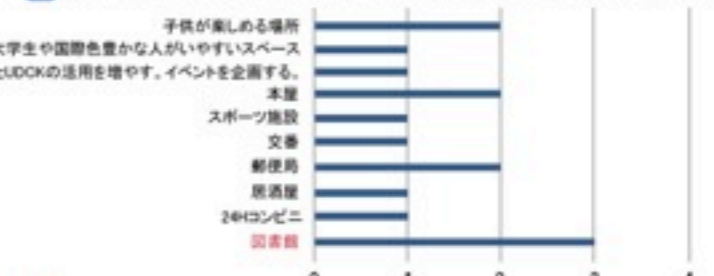


17 歩度、看板など、駅前のデザインについてどう思いますか？

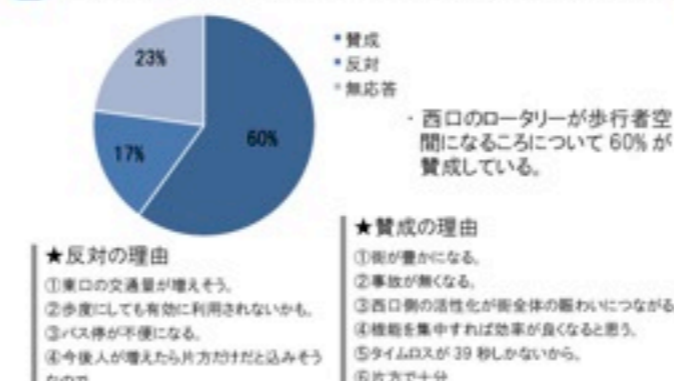
・駅前のデザインについては満足と不満足が42:41%、無回答が17%であった。具体的な理由は、

- ★満足理由
 - ①モダンでシンプルなお感じが良い
 - ②緑が多い
 - ③カシハナは素晴らしい
 - ④清潔であるから満足
 - ⑤無難でいいと思う
- ★不満足理由
 - ①喫煙エリアを狭くする(喫煙禁止エリアでいい)
 - ②緑が多い
 - ③柏の葉の独自色が出ていない
 - ④東・西が有機的に連携されていない
 - ⑤駅前駐輪場が狭い

18 地域性がある駅前広場となるためには何が必要だと思いますか？

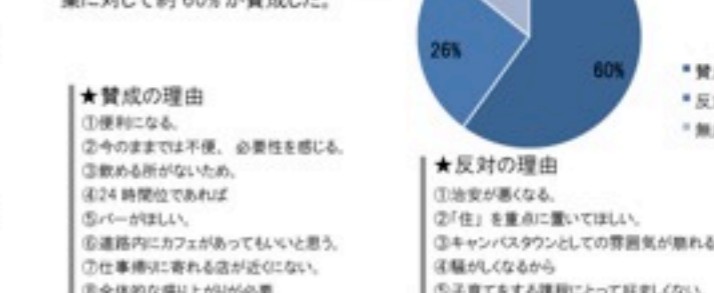


19 歩度、看板など、駅前のデザインについてどう思いますか？



20 居酒屋やファミリーレストランなど夜遅くまで営業する飲食店ができることについてどう思いますか？

・居酒屋やファミリーレストランなどの営業に対して約60%が賛成した。



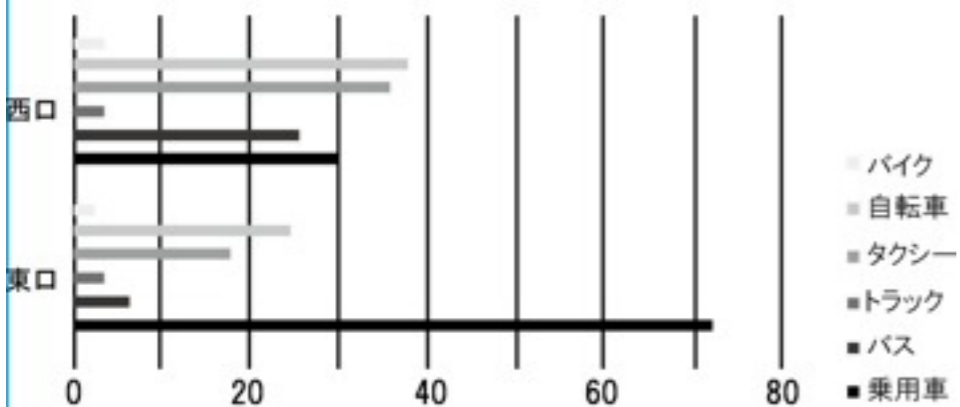
PROCESS3: 実測調査

■ 広場ロータリーにおける自動車の導入・流出量

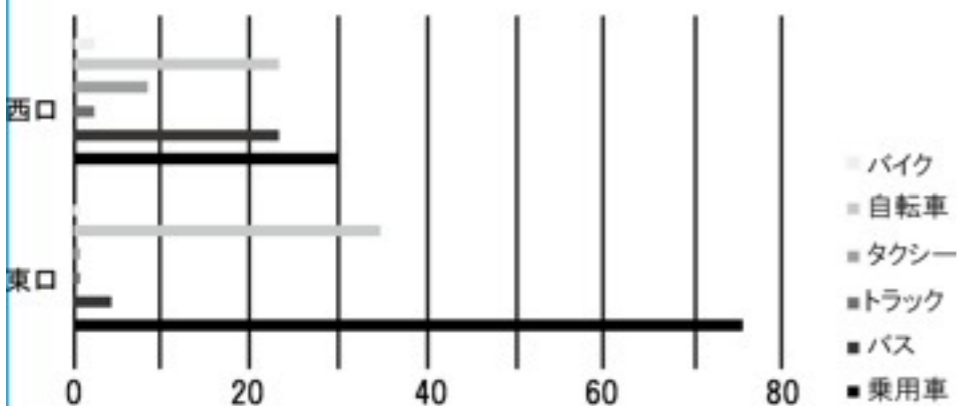


■ 平日の種類による交通量

(1) 昼時間帯 (10.12.16(木), 11:30-12:30)



(2) 夕方時間帯 (10.12.17(金), 19:15-20:15)



学生プロジェクトK in 柏の葉

学生主体による空間づくりの実践

柏の葉駅前広場 2020プロジェクト

ワークショップ

『駅前空間改善計画』皆で考えよう!!

東京大学大学院
空間計画研究室
+
UDCK

salon
3/4(金)19:10~

PROCESS4: 報告会とワークショップ

②テーマ別住民からの発表・意見共有



チーム別ディスカッション



K サロンのテーマ懇親会

空間づくりの方向性

- ・ 実証実験都市として多様な実験や試みができる空間づくりの実現
- ・ 継続的情報発信による住民参加型空間づくりの実践
- ・ 持続的に管理・運営する仕組みを含めた空間づくりのマネジメント

■3 チーム：景観&空間デザイン

駅周辺では、UDCK を中心としたまちづくりの中でマーケットの開催や市民緑化活動などが展開されている。しかし、当初の区画整理事業計画に想定されておらず、場所の確保に関する制約・課題が大きい。また、条例等に基づき景観面での基本的配慮は行われているものの、キャンパスタウンの顔としての空間的・特色は必ずしも生み出されていないと考えられる。今後の課題に関して地域住民の意見を聞いてもらう。



- ・ 住民としての立場からするとまず一つは子供がいるけど、4歳だが、気軽に遊べる、気軽に行ける公園がない。
- ・ 私が住んでいるマンションの方は中庭って公園のように見えているが、芝生に入ってはいけないようになっている。それは公園じゃないと思う。
- ・ 20分位歩くと柏の葉公園があるという人もいるかもしれないが、小さい子供が20分歩いて、母親が連れて行くのは大変難しい。
- ・ 駅前にその公園のような空間があったらいいのではないかなと思う。
- ・ 普段は公園として機能して、夜は屋台などを出して会社帰りの人も寄れるような場所にしたりとか、今、月1回しかマルシェやらないので毎週週末にはマルシェも出来ればいいかなと思う。
- ・ つまり、普通の公園ではなく、建物が透明で入り口となって公園と一体化されて公園とプログラムが一緒となっている空間づくりが必要。

■4 チーム：未来のイメージ

柏の葉キャンパスタウン構想の目標7では質の高い都市空間デザインのため、環境、健康、緑化などを推進しているが、東京の方から電車で来るイメージはまずらぼーとの駐車ビルであり、グリーンシティとは思わない。これからの柏の葉のイメージをいかにつくっていくのか、具体的にはどうすべきか、住民と一緒に考えてみる。



- ・ 近い未来としては、空き家などを利用した国際寮。柏の葉のバス路線の見直し。公共プールや体育館。柏市立図書館。人が集まりカフェや商店街、ギャラリーなど。
- ・ 10年後位には、アミューズメントパーク。スポーツができる場所。自然のようなジャングル。
- ・ 50年後は柏の葉の中で自給自足生活ができるまち。新エネルギー研究所としてエネルギーパーク、それを利用して新エネルギーの活用、柏の葉からロケットを発射できるように(笑)。柏の葉初宇宙旅行。国際都市として留学生などが気軽に帰られるヘリコプター場。
- ・ 1年から50年考える中、人間は何を先の目標にやってくるのかをまず考えるべきではないか。それが無いとどういうイメージを描くのも難しい。

歩行者 天国の社会実験、柏の葉 総合特区の検討など、

UDCKが中心となって今年度も多様な側面から
プロジェクトを進めて行く予定です。

宜しくお願いいたします。

